



加治丘陵だより

平成30年10月15日

第 29 号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL http://www.npo-kajikyuryo.net

第16回通常総会の開催

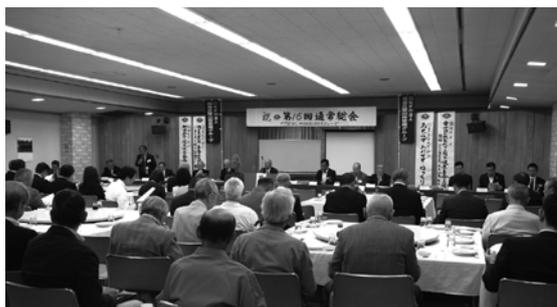
第16回通常総会が、平成30年6月16日(土)入間市市民会館において多くの正会員、賛助会員およびご来賓参加で開催されました。総会終了後引き続き、講演会および懇親会も盛大に開催されました。

通常総会

出席会員70名、委任状提出会員85名の合計155名（会員総数182名）で総会が成立し、長谷川理事の司会で開始されました。来賓として田中市長、横田市議会議長、大野元衆議院議員、杉島県議会議員、木下入間市名誉市民、荻野三ヶ島製材株式会社社長（入間ケーブルテレビ社長）、山崎入間市都市整備部長、佐藤埼玉りそな銀行入間支店長がご臨席されました。

大垣副理事長の開会宣言、大山理事長の挨拶に続き、菱川副理事長を議長に、浜田会員、関口会員を議事録署名人に選出後、大山理事長からの平成29年度事業報告とグループの現状報告を皮切りに議事に入り、宮坂理事から第1号議案から第3号議案の活動計算書・貸借対照表・財産目録が上程、清水監事から監査報告がなされました。引き続き、大山理事長から第4号議案から第9号議案の組織及び人事の変更・定款の変更・積立金計上・平成30年度事業計画書及び宮坂副理事長からも活動予算書が上程され、全議案が満場一致で承認されました。

その後、来賓の方々のご挨拶をいただき、滞りなく閉会となりました。



通常総会全景



挨拶する大山理事長

講演会

あすか歯科医院院長川島徹也先生（会員No.338）を講師に迎えて、「歯や口の機能低下を防ぎ、健康寿命を延ばそう」のテーマで約45分間の講演を拝聴しました。

〔講演者プロフィール〕

昭和48年入間市で生まれ、豊岡小学校、豊岡中学校および聖パウロ学園高等学校を経て神奈川歯科大学をご卒業。現在は、入間市河原町（入間市駅北口）であすか歯科医院を開業して10年目になります。

〔講演要旨〕

会員の平均年齢を捉えた、歯の数（入れ歯を含む）の減少と死亡率上昇の関係、歯周病の糖尿病や認知症への影響等の話題を例に挙げられた。歯周病や虫歯等歯の病気が身体に及ぼす悪影響およびその歯の病気を防ぐ唾液のチカラや歯の磨き方について解かりやすく説明され、いつまでも健康で幸せな日々を送れるよう自らの健康管理が大切であると強調されました。

会員達も全てが自分のことと受け止め真剣に聞き入って、有意義な講演でした。



懇親会

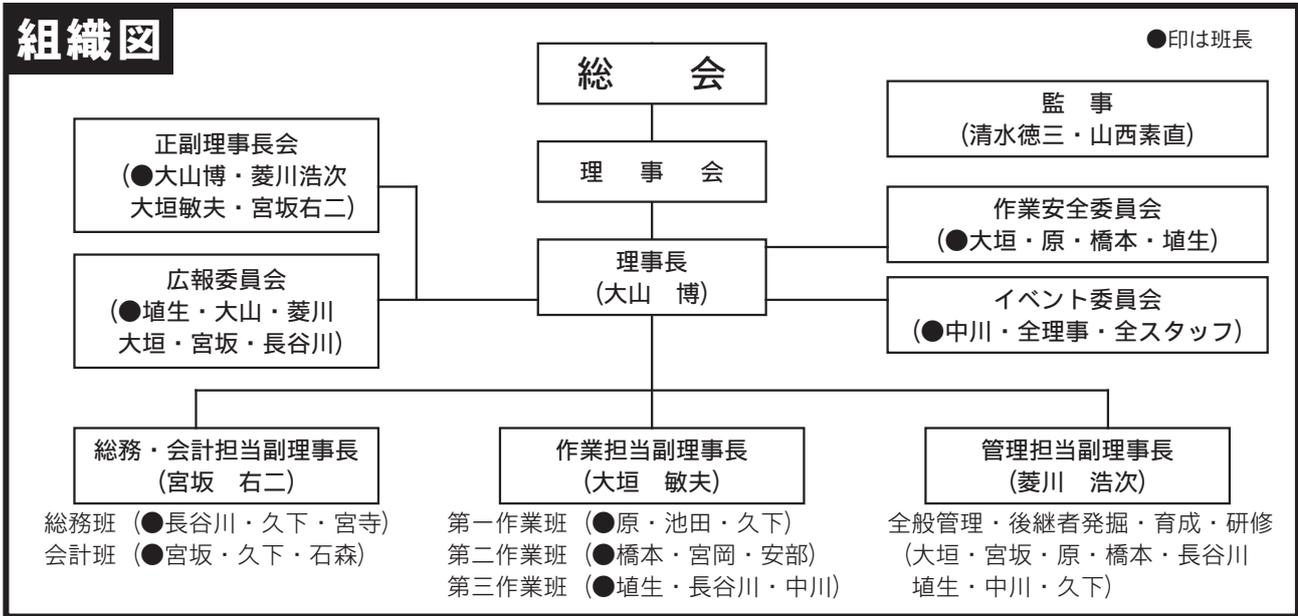
講演会終了後引き続き開催され、ご来賓・会員あわせて84名の方々が参加して宮寺会計事務所長・税理士宮寺成人様の乾杯ご発声により開始されました。宴会半ば、入間市東藤沢公民館を拠点として活動されているフラダンスグループ「フラ リリーズ」8名によるフラダンスが披露され、会員有志による飛び入りもあり、大いに盛り上がりました。約3時間、和やかな懇談が展開されました。

平成30～31年度は組織変更して取組みます

理事長 大山 博

総務・会計担当副理事長のもと、総務班と会計班を、更に作業担当副理事長のもと、第一作業班、第二作業班、第三作業班を設け、作業の安全と効率化を図り、機材整備は、各班に帰属させます。新たに、管理担当副理事長を設け、グループ全体の運営を把握して、この2年間で後継者の発掘と育成に最重点を置き、併せて研修体制の充実を更に図ります。イベント担当委員会を設け、入間万燈まつり、忘年会等を担当、会員相互の絆、親睦を重点に進めます。広報委員会は「加治丘陵だより」の継続発刊に向けて努めます。作業安全委員会は、継続的無事故を奨めます。よろしくお祈いします。

組織図



平成30年度上半期作業報告

作業担当副理事長 大垣敏夫

上半期実績

下草刈り総面積：87,017㎡ 伐採総本数：540本 樹皮むき総本数：195本
道標：2基

通常の下草刈りや枯木伐採に加えて、農村環境改善センターに隣接の「花見の丘」および自然探勝路入口付近の「花の木西追越」の伐採による整備も実施。作業日も通常より増加しましたが、毎回20名前後が参加し計画どおり無事故で作業を終了することができました。

- ①「花見の丘」は昨年に引き続き伐採、樹皮むきを実施。今まで薄暗かったエリアも光が差し込み気持ちのよい場所になりつつあります。
- ②「花の木西追越」は長期間整備されていなかったエリアで間伐、枯木伐採や下草刈りによる整備作業を実施し、散策されている人々の安全確保と眺望が広がりました。
- ③ 駿河台大学から機械を借用し、伐採したヒノキの小枝をチップにし、遊歩道に活用しました。



樹皮むき作業



チップ作製作業



大木伐採作業

下半期予定

下草刈り総面積：25,525㎡ 他

山仕事の広場等の下草刈りは前年どおりの作業が予定されています。伐採については、ほとんどが上半期に実施されたため、危険木の処理が主な作業になる見通しです。 全員、協力して安全第一で作業達成に努めます。

秋霖が東北地方から南下し夜来から雨が降り続き、当日の朝も雨模様。そんな天候でも参加者37名が入間市を秩父路へ向けて出発。バスが正丸トンネルを過ぎた処から雨はすっかり止み、森林視察研修らしくなりました。今回の視察研修地は羊山公園。雨の後の公園は涼風が吹き、身体を優しく包んでくれ、春であれば、芝桜が鮮やかに咲き乱れる秩父一の観光地ですが、今は初秋、あの芝桜のグラデーションを思い浮かべながら園内を散策。公園の樹木は伐採され下草が奇麗に刈られており維持管理をしている人達に敬愛の気持ちが湧いてきました。私達加治丘陵山林管理グループも同じように伐採、下草刈、遊歩道造り等を熟年パワーで取り組んでいます。加治丘陵が多くの人々に愛され居心地のよい空間であるよう維持管理していこうと気持ちを新たにしました。羊山公園の頂からは秩父の市街地が一望でき、昨年オープンした祭の湯、織物のちちぶ銘仙館、夜まつりで有名な秩父神社等、遠くには河岸段丘が穏やかに連なっています。公園散策後は札所29番傍の浦山山荘で懇親会。全員が同じ志を持つ会員なので終始和やかな雰囲気にも包まれながら終宴しました。皆様のご支援とご協力のお陰で滞りなく研修を終わることができました。有難うございました。



会員情報・ニュース

上半期新入会員紹介

488 遠野 玉枝	489 西澤三枝子	490 永澤美恵子	491 成田 雅博
492 横山 満	493 柏井喜代恵	494 馬場 博	495 浅見 範夫
496 大河原良之	497 吉田 充雄		

新入会員をご紹介下さい

お知り合いの方で、我々の活動にご興味を持っておられる人はいらっしゃいませんか。
ホームページ (<http://www.npo-kajikyuryo.net>) からお申込み下さい。

グループ活動に参加して



会員No.451 今野 栄之

私はこの春、長い会社勤めを終えNPO法人加治丘陵山林管理グループにお世話になることになりました。きっかけは入間市藤沢体協ゴルフ部で、小林貞治郎さんと大垣敏夫さんとの出会いでした。当時会社勤めをしていた私はゴルフの練習や大会でお世話になり、お酒の席でOKしたのでしょうか？自然な流れのうちにNPO法人に入るレールが引かれていたのです。3月末で会社引退、4月始めには樹皮むきやチルホールの作業をやっておりました。

9月に定年退職のご褒美で10日間ほどの北海道旅行を予定していたのですが、地震のため中止になり、少しがっかりしております。(荷物だけ北海道に行ってしまいました。)

自然の中での作業は楽しいです。特にお昼のおにぎり弁当は格別ですね！！皆様、これからもよろしく願います。



会員No.487 梅田 利幸

加治丘陵は、子供の頃に遊んだことのある慣れ親しんだ山です。インターネットの情報サイトで、この山林活動を知りました。数年前から山林保全活動に興味があり、昨年11月に入会させていただきました。

初めて参加したところ、肩にロープを掛けて太い丸太を数人がかりで運んだり、チェーンソーの扱いなど体力と技術を必要とする作業に驚きました。又、活動に参加している方々の優しい人柄と親切なご指導のお陰で、日々の作業に加わることが出来ました。そして、新しい遊歩道である南と北のコースを結ぶ階段と丸太橋が完成した時は何とも言えない達成感を味わうことができ、この活動に参加して良かったと思えました。未熟な私ですが諸先輩のもと、今後ともご指導よろしく願いいたします。



我々の活動場所である加治丘陵について、私が子供のころから見聞きしてきたことを中心に整理してみました。

1. 何故「加治丘陵」と呼ばれるか。

以前祖父から聞いたところによれば、この丘陵の所有者は加治村（飯能市）の人々が多かったため、いつからか加治丘陵とよばれてきました。それで、加治村の人々は表山と呼び、金子の人々は裏山と呼びました。

2. 加治丘陵はどのようにできたか。

およそ200万年前の加治丘陵付近は、関東平野の基礎となる火山灰が堆積して巨大樹のメタセコイアが森をつくっていました。また仏子、河原町付近は海岸でした。その後100万年前頃の気候と地殻の変動による隆起と侵食の繰り返しに加えて、多摩川が奥多摩方面から運んできた土石流が堆積して広大な段丘をつくるとともにメタセコイアを押し潰しました。これが亜炭となり仏子で地表から顔を出しています。60万年前頃には少しずつ侵食して谷（唐沢川、長沢川、蓬谷川）をつくるとともに現在の標高160mから200mの加治丘陵を作りました。この丘陵には、大きな岩はなく「頭大のコロコロ石」を多く含んだ栄養分の少ない土質で赤松、栗、ハンノキが多く、杉、桧の巨木はありませんでした。

加治丘陵に隣接する金子台地（標高120mから160m）には10万年前頃多摩川が流れていましたが、4万年前頃の隆起、侵食によって多摩川は南方へ移動していきました。その後、火山の噴火灰と中国ゴビ砂漠から風で運ばれた黄砂が積み重なってできた関東ローム（赤土）と呼ばれる風成層堆積物が5mから10m位堆積し、その上に現在の地表を形成している黒ボク土（黒土）が50cm位堆積しています。この土地は、現在「狭山茶どころ」となっています。

この黒ボク土は、縄文時代の6千年から1万2千年前の間に縄文人が草原の植物（カヤ等）を燃やしたときにできた微粒炭を土壤生物（ミミズ）が分解してできたもので、縄文人の遺物です。

縄文人の生活では、草原を燃やして新しく生えてくるワラビ、ゼンマイを採取して土器で加熱して食していたと思われます。そして、木の実や草の実等を栽培し自給生活をしていたようです。住居は霞川の南側で金子台地の北端で、「谷のうえ、坂うえ」と言われるところで、土器の破片やヤジリも出土しますが、人骨、獣骨は土壤生物によって分解され出土されません。土器は粘土で作られますが、ヤジリは黒曜石でできていました。しかし、この黒曜石は現在の長野県八ヶ岳付近で採れるだけでした。

“この遠方との交流があった縄文人は凄かった。”

現代の加治丘陵（昭和30年から40年頃）については次回に続きます。

参照資料：築地書館発行の「埼玉の自然をたずねて」「日本の土」

イベント情報

●結果報告

第16回通常総会：6月16日(土)開催【入間市市民会館】

体力検査：4月8日(日)開催【農村環境改善センター】 参加者各人が当日の体力を確認して一喜一憂の様子

森林視察研修：9月2日(日)開催【秩父市羊山公園他】

映画試写会：9月18日(火)開催【農村環境改善センター】 ドキュメンタリー映画「武蔵野」

第7回入間市環境フェア：9月30日(日)開催【産業文化センター】

●今後の予定

入間万燈まつり：10月27、28日(土、日)開催 出店場所はひばり通りNo.43（彩の森公園入口付近）

今年は焼きイカ、マフィン、缶ビールに加えて人形、木工品も販売

皆様のご来店をお待ちしています。

忘年会：12月9日(日)開催【入間市市民会館】 皆様のご参加で平成最後の忘年会を盛り上げましょう。

第22回楽山ゴルフ会：11月7日(水)開催【群馬県藤岡市緑野CC】

～編集後記～ 本号より編集委員長を仰せつかりました埴生です。これからも毎号「皆様に喜ばれる加治丘陵だより」を発行できるよう頑張るつもりですのでご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。本号の出来栄はいかがでしょうか。ご感想・ご意見をどしどしお気軽にお送りください。 (編集委員長 埴生)